



米国サンディエゴのスタートアップ支援組織「CONNECT」の アクセラレーションプログラムの支援企業を募集します

～資金調達に実績のあるライフサイエンス分野のアクセラレーションプログラム～

米国サンディエゴは、年間のベンチャーキャピタル投資額が 1,600 億円を超える全米有数のスタートアップ支援の先進地域です。

横浜市と(公財)木原記念横浜生命科学振興財団（以下「木原財団」という。）は、昨年に引き続き、米国起業家支援組織「CONNECT（コネクト）」と連携し、ライフサイエンス分野の中小・スタートアップ企業を育成・支援するプログラム“The Springboard™ Program in Yokohama”を実施します。

本プログラムに参加する企業は、メンターと共にビジネスプランをブラッシュアップし、ピッチスキルを磨きます。また、プログラムの修了後には、米国の VC や関係企業に対し、Demo day（オンライン）による成果報告を行います。この取組により、横浜市は、「イノベーション都市・横浜」の実現に向け、中小・スタートアップ企業を支援します。

CONNECT と連携したアクセラレーションプログラムの特徴

名 称	The Springboard™ Program in Yokohama
特 徴	<ul style="list-style-type: none"> (1) 3か月にわたる徹底したメンタリングプログラム「Springboard™」を横浜で開催 ⇒ サンディエゴで実績のあるメンターによるピッチプラクティスを体感 (2) 木原財団による伴走支援・ファシリテーション ⇒ 健康・医療分野における研究やビジネスの専門家に、随時相談可 (3) 海外展開を目指す企業の成長・拡大、資金調達を支援するメンタリングプログラム ⇒ 修了企業 8 社中 6 社が合計 15 億円以上の資金調達に成功（令和 3 年 3 月時点）
プログラムの メリット	<ul style="list-style-type: none"> ○ ビジネスモデルが洗練されるため、自社の持つ製品やサービスについて訴求力が向上 ○ 海外向け資金調達ピッチのプレゼン内容をブラッシュアップ ○ プログラムを通じた知名度向上による、投資家や医療機関等との関係構築

CONNECT とは

米国サンディエゴのスタートアップコミュニティにおける 2 大支援機関である「CONNECT」（1985 年設立）と「San Diego Venture Group」（1986 年設立）が 2019 年 4 月に合併。各組織に由来するノウハウと実績、幅広いネットワークにより、優れた企業の創出に向けて、企業の成長・拡大、資金調達を支援するプログラムやイベントを実施し、サンディエゴ地域の起業家やスタートアップ企業の育成を行っています。



公募要項

- 公募期間： 令和3年4月12日（月）から5月7日（金）まで
- 募集人数： 4者・チーム程度
- 参加費： 無料（交通費や通信費など、間接的な費用については自己負担となります。）
- 対象事業： ・ライフサイエンス分野（創薬、リサーチツール、医療機器、ヘルステック等）
・創薬シーズは前臨床以上のステージにあること、デバイスはプロトタイプがあること
- 参加資格： ①横浜市内に事業所をもつ中小企業、または、LIP横浜会員
（資本金や創業年数は問いません。企業内の新規事業も対象となります。）
②将来的に横浜市内で起業を考えている年齢が満20歳以上の個人
※①については下の表の優先順位にて審査します。

1	横浜市内に本社のある中小企業
2	本社は横浜市外だが、市内に事業所等のある市内中小企業
3	1～2以外の該当者 ※将来的に横浜市内に事業所を立地することを考えている企業に限る

- 審査： CONNECTによる一次審査（書類審査）と二次審査（Web面接）を実施します。
- 使用言語： 英語（ご希望により、通訳手配（無料）が可能です）
- 申込方法： 事務局にお問合せいただいた方に申請書をメールでお送りします。必要事項を記入のうえ、PDFファイルに変換してメール添付で事務局にお送りください。

※プログラムにご興味がありましたらお気軽にお問い合わせください。個別にご説明します。

<事務局> 横浜市経済局産業連携推進課（担当 畑中）

電話：045-671-3495 E-mail: ke-bio@city.yokohama.jp

スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
CONNECT		審査		メンタリング			
木原財団		伴走支援	伴走支援	伴走支援	伴走支援	伴走支援	伴走支援
横浜市	公募期間	締切	決定通知				デモデイ

4月12日（月）	公募開始 ※ 随時、応募相談可
5月7日（金）	公募締切
5月12日（水）～19日（水）	一次審査（CONNECTによる書類選考）
5月下旬	一次審査 結果通知
6月8日（火）～11日（金）	二次審査（オンライン）
6月下旬	支援対象者 決定通知
7月1日（木）	☆キックオフ
7月～9月	メンタリング（オンラインミーティング3回）
8月下旬・9月下旬	★ピッチプラクティス
10月28日（木）	デモデイ（オンライン）

【重要】横浜市内または米国サンディエゴ市内における新型コロナウイルス感染症等の状況により、事業が予定どおりに実施されない場合があります。

CONNECT とのアクセラレーションプログラム修了企業の実績

令和元年度と2年度のプログラム修了企業 8 社中 6 社が合計 **15 億円以上の資金調達**に成功しています。

(例) アーサムセラピューティクス株式会社 (中区)

- ・開発中の治療薬の臨床 POC 獲得に向けて第三者割当増資により総額約 5.9 億円の資金調達を実施 (2020/12/24)

株式会社 CROSS SYNC (金沢区)

- ・重症患者管理システム「iBSEN (イブセン)」開発のための第三者割当増資により総額 1.5 億円の資金調達を実施 (2021/3/8)

メディギア・インターナショナル株式会社 (緑区)

- ・株式投資型クラウドファンディング「FUNDINNO (ファンディーノ)」にて今までで最速となる 10 分 13 秒で上限応募額 6993 万円に到達 (2021/2/8)

【修了企業からのコメント】

「事業について固まり切っていない時点で、プログラムが開始となったが、3 か月に渡るメンタリングを経て、ピッチスライドの構成から事業・数値計画に至る隅々までご助言いただいた。投資企業様、事業者様、研究機関様など様々な方々と会議を行う際に、筋の通ったプレゼンテーションや事業ビジョンを伝えられるようになり、多くの方に共感を得られるようになったと強く感じております。また、実際に海外のオーディエンスを招いたピッチイベントも実施していただき、非常に貴重な体験ができたとともに、ピッチ後の QA セッションを通して、課題や強みを明らかにでき、事業の方向性をより明確なものにすることができました。」(CROSS SYNC)

木原財団によるプログラムへの伴走支援について

事業戦略、マーケティングを専門とする木原財団の三宅 善敬氏による、申請支援からアフターフォローに至るまでの伴走支援を受けることができます。

修了企業の皆様からは、「CONNECT のメンターから言われたことはわかるが、それをどういう意味であるか、解釈をどうするかについて説明してもらい、次に向けてどうするかなど相談に乗ってくれた。何かあれば相談に乗ってくれる。」といった高い評価をいただいております。

【経歴】

2011 年に木原財団入職。企業およびアカデミア研究者の事業化支援業務に従事。公的資金を活用した研究開発事業、販路開拓、新規事業企画の経験に富む。一橋大学大学院商学研究科修了 (MBA) 。



イノベーション都市・横浜について

横浜市は、2019 年 1 月に、研究者・技術者、起業家、学生などの人材が、組織を超えて交流し、新たなイノベーションを横浜から創出していく、「イノベーション都市・横浜」を宣言しました。

「ヨコハマ・クロスオーバー (YOXO)」を旗印として、みなとみらい 21

地区の研究開発拠点や、関内地区のベンチャー企業など、市内各地でイノベーション人材の交流を広げ、産学官で新事業の創出・育成に取り組んでいます。

また、「I・TOP 横浜」と「LIP.横浜」の2つのオープンイノベーションを推進するプラットフォームを相互に連携させることで、市内企業の IoT 及びライフイノベーションの取組を促進します。



お問合せ先

「プログラムに関すること」	経済局産業連携推進課担当課長	佐藤 慎一	Tel : 045-671-3591
「伴走支援に関すること」	木原記念横浜生命科学振興財団事務局長	岩船 広	Tel : 045-502-4810

※本件は、経済記者クラブにも配布しております。